

こども園における自己評価

八尾市立志紀おおぞらこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4		

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	研修会への参加は積極的にしており、見聞きした内容は各自保育に反映させている。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	3	
職員 運営に ついて	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	4	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守 秘 義 務 の 遵 守	・乳幼児や保護者に関する個人情報などを適正に取り扱っているか	4	
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目	内容	評価	備考欄	
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	3	感染状況を見ながら徐々に各施設との交流を再開している。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立っているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	
・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか		4		
施設・設備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4		
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4		
	・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4		
経理出納	・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4		

成果

- ・教育・保育の質の向上をはかる為、様々な研修会への参加や、自園での保育研究に加え公開園内研を行った。回を重ねることで子どもの姿の見取り方やよりよい環境構成、援助方法についての知識を深め、一人ひとりの育ちと集団での育ちを考えた教育・保育を進めている。保育サポートが必要な子どもには困り感に寄り添い丁寧な対応を行った。
- ・看護師による保健指導を実施した。うがいや手洗い、歯磨き、目や耳に関する話等、子どもが自身の身体に興味をもち健康に過ごすための意識が育つようにしている。
- ・大阪府警の防犯教室を受け、子どもの被害の未然防止に取り組んだ。職員は保育中、活動の節目や場所移動の際に人数確認を行うことで、事故の未然防止を行った。
- ・各種行事や保育参観、クラス懇談会等予定通り実施することが出来た。また小・中学校及び地域の方との交流も少しずつだが再開している。今年は駐屯地を訪問するなど、様々な人とふれあうことで子どもたちの学びとなった。保護者には園だよりやポートフォリオ、スライドショーにより教育・保育内容を知らせ、第三者委員や小・中学校にも園の様子がわかる便りを配布し情報提供した。
- ・子育て支援として在宅子育て家庭に向け、地域交流や一時預かり事業を行っている。一時預かり事業は需要が高い。地域交流は参加される方が話が出る場を提供出来た。また子育て支援センターが実施している企画教室で園の看護師が健康に関する話をし、日頃の保護者の健康に関する悩みに対応した。園の様子(行事・食育・おおぞらひろば・地域との交流等)をホームページに掲載し、市民への情報発信を行った。

課題

- ・職員が主体的に学べる研修会の進め方。
- ・研修内容を伝達する機会の工夫。
- ・地域との交流の計画的な実施。
- ・在宅子育て家庭への支援について、内容の検討
- ・危機管理に対する職員の意識向上及び保護者への協力依頼。

改善策

- ・今年度の教育・保育内容の評価・反省を行い、方向性を明らかにし研究を進めていく。
- ・コロナ禍以前の地域との交流内容の確認、見直しを行い、次年度の計画に反映させる。
- ・在宅で子育てをされている方の思いに寄り添い、子育て支援に関する地域資源について情報を提供する。
- ・研修で得た知識を職員間にて共有し、質の向上を図る。
- ・危険と感じた事象について職員間で情報共有し、改善策を検討する。必要に応じて保護者にも状況の説明を行い協力依頼をする。